

平成23年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率について

■健全化判断比率

4つの指標すべてにおいて、早期健全化基準を下回っています。

平成22年度から、実質公債費比率は0.8ポイント、将来負担比率は10.2ポイント改善しました。

(単位:%)

指 標 名	早期健全化基準	平成23年度	平成22年度	平成23年度－平成22年度 (ポイント)
実 質 赤 字 比 率	12.06	—	—	—
連結実質赤字比率	17.06	—	—	—
実 質 公 債 費 比 率	25.0	9.0	9.8	▲ 0.8
将 来 負 担 比 率	350.0	43.6	53.8	▲ 10.2

※1 実質赤字比率、連結実質赤字比率は赤字額がないため、「—」を記載しています。

※2 早期健全化基準は、平成23年度決算に基づく数値です。

※3 用語の意味は、【関連書類】の「用語解説」を御覧ください。

■資金不足比率

資金不足額(赤字額)はありません。

(単位:%)

会 計 名	経営健全化基準	平成23年度	平成22年度	平成23年度－平成22年度 (ポイント)
水 道 事 業 会 計	20.0	—	—	—
下 水 道 事 業 会 計		—	—	—
農 業 集 落 排 水 事 業 特 別 会 計		—	—	—
加須都市計画事業不動岡 土地区画整理事業特別会計		—	—	—
加須都市計画事業三俣第二 土地区画整理事業特別会計		—	—	—

※ 資金不足額がないため、「—」を記載しています。